

令和3年度北海道科学技術奨励賞受賞者功績概要

氏名	小野寺 康仁（42歳）		
	※ 年齢は令和3年4月1日現在		
所属・職名	北海道大学大学院医学研究院 准教授	現住所	札幌市北区
<p><功績名></p> <p>「細胞内代謝の変化が発がんおよび治療耐性を誘導する分子メカニズムの解明」</p> <p><功績の内容></p> <p>氏は、がん研究に20年ほど携わり、細胞内の代謝変化に伴ってがんおよび治療耐性の増大が誘導されることや、その背景となる分子メカニズムの詳細について明らかにしてきた。がん細胞の普遍的特徴である「ワールブルグ効果（糖代謝の亢進）」が発がんの引き金になり得ることを実験的に初めて証明した研究は世界中で大きな反響を呼び、当該論文は著名な研究者らによって推薦される「F1000Prime」にも選出された。関与するメカニズムが明らかとなったことで、「がんマーカーとしての糖代謝遺伝子の利用」や「糖代謝の制御によるがんの予防や治療」への展開が可能となり、関連する知財については特許取得を完了している（US9689042B2）。</p> <p>また、氏は、細胞内代謝において中心的な役割を担う小器官であるミトコンドリアの細胞内分布が、がん細胞の浸潤能や治療耐性と密接に相関することを明らかにした。当該論文は、放射線影響協会の奨励賞を受賞したほか、世界中の大学や図書館等で配布される「Asia Research News」の2019年版に選出され、北海道大学で行われてきたがん研究の歴史と共に紹介されている。関連する知財については、特許出願を完了している（特願2013-148970）。</p> <p><経歴></p> <p>（略歴）</p> <p>平成13年 3月 京都大学理学部卒業</p> <p>平成15年 3月 京都大学大学院生命科学研究所修士課程修了</p> <p>平成18年 3月 京都大学大学院生命科学研究所博士課程修了</p> <p>平成18年 4月 大阪バイオサイエンス研究所 特別研究員</p> <p>平成19年10月 米国ローレンスバークレー国立研究所 博士研究員</p> <p>平成21年10月 北海道大学大学院医学研究科 助教</p> <p>平成26年10月 北海道大学大学院医学研究科 講師</p> <p>令和 2年12月 北海道大学大学院医学研究院 准教授</p> <p>～現在～</p> <p>（受賞歴）</p> <p>平成22年 7月 シグナルネットワーク研究会 奨励賞</p> <p>平成27年 3月 北海道大学大学院医学研究科 優秀論文賞</p> <p>平成28年 3月 北海道大学大学院医学研究科 優秀論文賞</p> <p>平成31年 3月 北海道大学大学院医学研究科 優秀論文賞</p> <p>平成31年 4月 放射線影響協会 放射線影響研究奨励賞</p>			